

Moacyr Scliar 著 『Um país chamado Infância』

《作者紹介》

モアシール・ジャイメ・スクリアールは1937年3月23日、ポルト・アレグレに生まれた。ロシア系ユダヤ人の末裔で、1962年に公衆衛生を専攻し、医学部を卒業。その年、短編小説である『養成課程にある医者の話』で、文壇にデビューした。そして、彼が国民的耳目を集めたのは、次作『動物たちのカーニバル』である。絶え間ない創作活動の30年間で、スクリアールは様々なジャンルにおいて意味深長な題名のおよそ30冊にも及ぶ作品を認めた。短編小説『ファン・ゴッホの片耳』、短編小説『ただ一人の軍隊』、小説『庭園のケンタウロス』、随筆『魔術的なものから社会的なものへ』、児童・青春小説『愛の実践入門』、そして、このクロニカ『インファンシアと呼ばれる国』などの作品である。

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ブルガリア語、ポーランド語、ノルウェー語に翻訳され、数々の賞を受けた。その中には、ミナス文学幹林院賞（1968年）、ジョアキン・マヌエル・デ・マセード賞（1974年）、エリコ・ヴェリッシモ賞（1976年）、ブラジル賞（1977年）、ギマランエス・ローザ賞（1977年）、パウリスタ芸術批評協会賞（1980年）、マシャード・デ・アシス賞（1981年）、アメリカ大陸協会賞（1989年）がある。

2005年12月2日

田所清克・岐部雅之共訳